

令和6年第3回大野城市議会 6月定例会一般質問通告

○本会議（3日目）一般質問

令和6年6月17日（月） 午前9時30分（於 議 場）

議員氏名	件 名
平田 不二香	<ol style="list-style-type: none"> 1. シビックゾーン第2次整備計画について <ol style="list-style-type: none"> (1) (仮称) 防災危機管理センターについて 2. 地域公共交通ネットワークの充実のために <ol style="list-style-type: none"> (1) 新型コロナウイルス感染症の影響による乗客減や働き方改革による影響として減便、バス・タクシー等の人手不足が加速し、全国的に公共交通の確保維持に困難が生じているが、本市の状況はどうか (2) 本市の講じる対策は (3) 大野城市交通活性化協議会について (4) 市民の日常の外出や公共交通に関する実態について (5) 今後の本市の地域公共交通ネットワーク再構築について
森 和也	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害に強いまちづくり <ol style="list-style-type: none"> (1) トイレトレーラーについて (2) 指定避難所の機能強化について (3) 公安職（自衛隊、警察、消防）との連携について (4) (仮称) 防災危機管理センターの整備について
福澤 信光	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人口減少と共存する方策を打ち出す <ol style="list-style-type: none"> (1) 本市で地方創生を活用した施策を実行されてきたと思うが、これまでの取組はどのようなものがあるか (2) 大野城市として、地方創生に対してどのように考えているのか (3) 2015年、安倍総理が「地方創生を成功させ、我が国の人口減少に歯止めをかける」と言われましたが、この人口減少に歯止めをかけ、人口を維持・増加するために大野城市はどのような取組をしているのか (4) 第6次大野城市総合計画後期基本計画の策定に当たって、人口維持・増加の取組をどう評価したのか (5) 大野城市ならではの特色・ブランドを含めた本市の地域ブランドは構築されているのか (6) 地方自治法第1条の2に「地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものとする。」と規定されている。そこで、住民の福祉の増進を図るために地域の誇りや愛着を高める、いわゆる「シビックプライド」が必要だと思うが、シビックプライドに対する市の見解は (7) 「シビックプライド」は2010年前後から様々な自治体で用いられ、「シビックプライド」に価値を見出す自治体も多くある。本市で「シビックプライド」を重視した政策が展開できているか (8) 関係人口について、関係人口とは移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない地域や地域の人々と多様に関わる人々の事を指す。総務省において開催された「これからの移住・交流施策の在り方に関する検討会」でもこの「関係人口」に着目した施策に取り組むことの重要性が議論されている。本市では関係人口が現在どの位か把握しているか (9) 国の議論では関係人口は善であると言われてるが、関係人口は、①活

	<p>動人口②関心人口③問題人口④弊害人口の4つに大きく分類できる。ただ関係人口を増やすのではなく活動人口を増やす事が重要だと考えるが、市としてこの活動人口を増やすためにどのような考えがあるか</p> <p>(10) 人口を維持・増加させるためには、地域づくりも大切だと思う。官である行政が市民と共に街を創る「共創」を取り入れた指針作りをしている自治体が静岡県三島市をはじめ多く存在している。まさしく官民連携による「共創」が今後の課題になると思うが、本市の見解は</p> <p>(11) 最近のコミュニティに目を向けてみると、区長は、行政区長や公民館長などの役をされているが、他にどのような組織の役をされているのか伺う</p> <p>(12) 人口を維持・増加させるためには地域づくりが大切であり、官民連携による「共創」が今後の課題になると思うが、それこそ、関係人口の中の、活動人口を増やし地域の担い手となっていただくことが重要であり、それが、新しい地域づくりのスタートになると思う。このことについて市の考えは</p>
<p>中村 慎一朗</p>	<p>1. 大野城市における防災及び災害対応について</p> <p>(1) 大野城市ハザードマップは、かさ上げた土地について、マップに反映されているか</p> <p>(2) 災害時における情報提供について</p> <p>(3) 計画停電等への対策はどうなっているか</p> <p>(4) 親水エリアではない管理用階段への安全対策はどのようになっているか</p> <p>(5) 単身世帯への防災情報の周知について</p> <p>(6) 災害時における帰宅困難者について</p> <p>(7) 昨年の大雨による災害復旧工事について</p> <p>2. 学校における防災について</p> <p>(1) 学校教室や体育館における照明落下防止対策はどのように行っているか</p> <p>(2) 火災による煙の中での安全な避難経路確保対策は、どのような工夫をしているか</p> <p>(3) 通学路の交通安全や水難事故に関する児童生徒の危機管理能力の教育指導はなされているか</p>
<p>松崎 百合子</p>	<p>1. 障がい者の就労支援とふれあいの場について</p> <p>(1) 2013年4月「国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律」の施行から12年、本市の取組みについて</p> <p>(2) 本市の障がい者就労支援施設について</p> <p>(3) 障がい者施設の製品の販売について</p> <p>(4) 障がい者施設製品のこどもたちへの提供について</p> <p>2. こどもの居場所づくりと不登校児童生徒の支援について</p> <p>(1) 2023年12月こども大綱と「こどもの居場所づくりに関する指針」が策定されている。こどもの居場所について、見解を伺う</p> <p>(2) 指針の基本的な視点の一つに「ふやす～多様なこどもの居場所がつけられる～」とあるが、地域の居場所づくりをどのように進める考えか</p> <p>(3) 不登校が増え続けているが、その要因をどのように考えているか</p> <p>(4) 不登校対策はどのようなプロセスで検討されているか、当事者や保護者の意見が重要と考えるが、その意見を聴き、対話しながら進められているか</p> <p>(5) こども大綱において、「こどもが安心して過ごし学ぶことができる質の</p>

	<p>高い公教育の再生等」があげられている。学校が、子どもにとって大切な居場所の一つとなるための課題をどう考えるか</p> <p>(6) 保健室や図書室が教室に入れないこどもの居場所になっているといわれるが、実情はどうか</p> <p>(7) 小学校にも校内適応指導教室を配置するべきではないか</p> <p>(8) 放課後等デイサービスについて</p> <p>3. 戦後 80 年の取組について</p> <p>(1) 本市では、「終戦 50 年記念戦争体験記」を発行されている。戦後 75 年に寄せては「大野城市の戦争とくらし」展が開催され、記録も出版された。2025 年に戦後 80 年を迎えるが、その取組として戦争と戦後の記録・記憶集ができないか</p>
河村 康之	<p>1. 障害者福祉の向上のため支援事業の拡大を</p> <p>(1) 障害者手帳の申請と更新時の支援について</p> <p>(2) 耳が聞こえにくい人への本市のコミュニケーション支援について</p> <p>(3) 高齢者の認知症と難聴の関係について</p> <p>(4) 多言語のユニバーサル情報通信ツールとして、文字情報を二次元コードに変換し、スマートフォンで音声として聞くことが出来るユニボイスの普及について</p> <p>2. 本市が管理する駐輪場の状況と今後の整備について</p> <p>(1) 駅周辺の駐輪場の管理と整備について</p>

※永利 恭子議員一般質問は 17 日（月）（3 日目）から 18 日（火）（4 日目）へ変更

○本会議（4日目）一般質問

令和6年6月18日（火） 午前9時30分（於 議 場）

議員氏名	件 名
※永利 恭子	<p>1. 中学校の食事に関するアンケート等について</p> <p>(1) 毎年中学校の食事に関するアンケートが行われているが、生徒の回答率は65.7%と低く、昨年より下がっているのはなぜか</p> <p>(2) アンケートが始まったのはいつからで、その目的は何か。また、アンケート結果から何を読み取り、それをどのように活用しているか</p> <p>(3) 「中学校でどれぐらい昼食を食べていますか」という質問に対して0.7%がほとんど食べていない、0.3%が週に1～2日、1.3%が週に3～4日と答えている。昼食を食べていない生徒がいること自体が問題ではないか。昼食を食べていない生徒がいる結果をどのように受け止めているか</p> <p>(4) 健康面などを考え、昼食を食べていない生徒をゼロにするためにどのように取り組んでいるか。その結果、状況は改善しているか</p> <p>(5) 食べていない理由に食べる時間がないと答えている生徒もいる。昼食時間が15分しかなく短すぎるのではないか。工夫して昼食時間を長くすることはできないか</p> <p>(6) きちんと3食栄養ある食事がとれているかなどを把握すべきと考える。アンケートをするのであれば、目的も含め質問事項などの見直しを行い、その結果を生徒の健康と学力向上のために活用していただきたいが、いかがか</p> <p>(7) 給食費無償化の進捗状況はどうなっているか。本市独自で無償化を実現できないか</p> <p>(8) 令和5年9月議会での質問に対し、「給食費を無償化する場合、公平性の観点から、弁当やパンを選択する生徒の保護者に対しても、ランチ給食を喫食した場合と同程度の250円程度を想定している。」との回答であったが、食材費相当額の300円が妥当ではないか</p> <p>2. ジェンダーギャップについて</p> <p>(1) 本年度当初の女性管理職（部長・課長級）の割合はどうなったか。前進しているか</p> <p>(2) 令和5年12月議会において、「管理職になることが見込まれる年代である50歳以上の職員の女性の割合が令和7年度に約18%となる実態から、将来の管理職の割合においても同等の18%を目標にしている。」との説明を受けたが、積極的改善措置として具体的に何を行ってきたのか</p> <p>(3) 男女の給与の差異の状況は改善される方向にあるか</p> <p>(4) 本市において「間接差別」にあたる状況がないか確認し、改善されているか</p> <p>3. こども食堂と公民館について</p> <p>(1) 区で行うこども食堂の食材や消耗品費が予算化された。これは区と十分協議して決められたものか。目的や概要、実施予定状況はどうなっているか</p> <p>(2) 企業等から寄贈された食材等を取りまとめ、こども食堂に分配している団体の運営費に補助金を出しているが、その団体と区との連携をどのように想定しているか</p> <p>(3) 区でこども食堂を実施できなかった場合や予算が余った場合はどのように精算するのか</p>

	<p>(4) 区が事業を行うにあたって、自主性、柔軟性を損なっているようなことはないか</p> <p>(5) 公民館や老人憩の家をクーリングシェルターとして活用することについてどう考えているか</p>
河野 敏生	<p>1. 河川等における大雨災害防止・減災と憩いの場としての維持管理について</p> <p>(1) 2023年梅雨前線による豪雨の被害箇所の修復について</p> <p>(2) 憩いの場としての維持管理等について</p> <p>2. 水城駅のバリアフリー化について</p> <p>(1) 水城駅のバリアフリー化について</p> <p>3. 大野城市の不登校児童生徒0人をめざすために</p> <p>(1) 大野城市立の小中学校における不登校児童生徒数について</p> <p>(2) 不登校児童生徒の社会的自立を促す取組と、不登校児童生徒を出さない学校づくりの取組について</p> <p>(3) 不登校0人の学校づくりのために</p> <p>4. 特別支援学級の支援員の配置について</p> <p>(1) 特別支援学級数の現状について</p> <p>(2) 支援員の人数について</p>
松田 美由紀	<p>1. 学校内で発生したいじめと今後の対策について</p> <p>(1) 子どものいじめと学級崩壊</p> <p>(2) いじめが起きた場合の委員会実施等について</p> <p>(3) いじめの報告に係る当該学校への支援・措置・事案の調査の現状について</p> <p>(4) いじめ防止対策推進法に基づく「重大事態」とはどういったものか</p>
平井 信太郎	<p>1. 大野城いこいの森の施設について</p> <p>(1) 大野城いこいの森中央公園について 今年3月に遊具がリニューアルされたが、リニューアル前と後では入場者数の変化はあるか</p> <p>(2) 大野城いこいの森の施設は、8つの公園と1つのキャンプ場があるが、施設のトイレの状況について</p> <p>(3) 施設内の駐車場について</p> <p>(4) キャンプ場について</p> <p>(5) 今後の大野城いこいの森について</p> <p>2. 中学校ランチ給食の推進について</p> <p>(1) 中学校ランチ給食の試食会について</p> <p>(2) 中学校ランチ給食は、アンケート結果を踏まえ、今後どのような方向性を考えているか</p> <p>(3) 給食費の無償化について</p>
大塚 みどり	<p>1. 二酸化炭素排出ゼロの推進について</p> <p>(1) 「ゼロカーボンシティ大野城」宣言について</p> <p>(2) 宅配ボックス設置について</p> <p>2. 市職員の職場環境について</p> <p>(1) 市職員のメンタルヘルス対策と病気退職後の職場復帰について</p> <p>(2) パワーハラスメント防止について</p>
原田 真光	<p>1. 道路交通の安全対策について</p> <p>(1) 令和6年4月12日夕方頃、県道505号線つつじヶ丘交差点で、右折車と直進車の衝突事故が発生した。 交差点において、右折レーンが設けられているが、右折矢印信号が付</p>

	<p>けられていない箇所がある。右折矢印信号の設置に関する基準や考え方を伺う</p> <p>(2) つつじヶ丘交差点の県道側に右折矢印信号の設置が必要だと考えるがいかがか</p> <p>(3) 交通事故を減らす取組や歩行者の安全を確保するための取組を伺う</p> <p>(4) 交通事故発生時、見た目には負傷が分からなくても、時間が経ってから取り返しのつかない状況が発生する場合がある。交通事故遭遇時は速やかに医療機関を受診すること等の啓発活動が必要だと考えるがいかがか</p> <p>2. 公共施設照明のLED化について</p> <p>(1) 道路及び公園照明灯の本市のLED化の取組を伺う</p> <p>(2) 公共施設照明のLED化の取組を伺う</p> <p>(3) 公共施設照明のLED化基本計画を策定している自治体が増加している。ゼロカーボン政策の一環として、また広く照明として利用されてきた蛍光灯を主要メーカーが生産中止している現状を鑑みて、計画的な照明のLED化を進めるために、本市でも公共施設照明LED化計画の策定が必要だと考えるがいかがか</p>
<p>松崎 正和</p>	<p>1. 禁止されているはずのまどかぴあ会議室での飲酒について</p> <p>(1) まどかぴあの「利用上の注意」の中に、「所定の場所以外での飲食・喫煙はお断りします。」とあるが、所定の場所とはどこか</p> <p>(2) 今年の3月7日の夜、井本市長の支援組織である「七日会」が「例会」と称して、「まどかぴあ 303 会議室」において親睦会を行ったとのこと。「七日会例会のお知らせ」という案内状には、「会費 1,000 円、一品一缶の持ち寄りをお願いします」とあるようだが、これらのことは全て事実か</p> <p>(3) 参加者は市民の他、自民党所属の県会議員と市議会議員5～6名と聞くが事実か</p> <p>2. 市長と市議会議員の関係について</p> <p>(1) 毎月欠かさずことなく「七日会例会」として、市長と議員が、市民も参加する中での親睦会が行われている。大野城市議会基本条例には「議会と市長は、相互の抑制と均衡を図り緊張関係を保ちながら云々」としている。この条例は議会が定めたものではあるが、市長は「二元代表制である議会と市長」の関係についてどう考えるか</p> <p>3. 市役所1階市民ホールについて</p> <p>(1) 先月市民ホールに大野城市の年表と歴代市長の写真が設置されたが、その経緯・理由・目的は</p>